

二本松
あだたらロータリークラブ
週報 第6号

第1474回 令和8年8月20日 例会場/居酒屋ゆたか

持続可能な
インパクトを
生み出そう2026-2027年度
国際ロータリーのテーマ会 長 橋本 哲弥 副会長 菅野 守芳 クラブ会報委員会
会長エレクト 飯田美恵子 幹 事 吉田 豪

会長あいさつ

会長 橋本 哲弥

皆さん、こんばんは

本日もご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

まず初めに、本日もお越しいただきありがとうございます、福島ロータリークラブからのお客様をご紹介しますと思います。

福島ロータリークラブ 会長 横山 淳様。

続きまして、

同じく福島ロータリークラブ 幹事 藤井 守様。

本日は、二本松あだたらロータリークラブの例会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。心より歓迎申し上げます。

のち程会長には来賓挨拶と幹事には乾杯のご挨拶を頂戴したいと思います。

さて、本日の会長挨拶ですが、先月末に小学生の全国ソフトボール大会のために鹿児島に行っていました。

鹿児島といえば、やはり一番有名なのは桜島だと思います。そして、その次に有名なのが知覧、知覧特攻平和会館ではないでしょうか。そのほかには、砂むし温泉で有名な指宿温泉などもあり、私も今回、鹿児島をいろいろと回っていました。指宿温泉では古びた 38年やってる居酒屋にお邪魔しました。そこで5秒44で大関の名前を刻んできました。

今回話をしたかったのが知覧特攻平和会館です。

知覧からは、太平洋戦争末期、多くの若者たちが特攻隊員として出撃していきました。

平和会館には、彼らが残した写真や遺書、家族への手紙などが数多く展示されています。

私が特に胸を打たれたのは、その若さです。7歳、18歳、20歳。

今で言えば、高校生や大学生くらいの若者たちばかりです。

展示されている写真を見ると、特別な人たちではありません。

笑っている青年もいます。家族を思う青年もいます。故郷に帰りたいと思っていた人もいたでしょう。

そんな若者たちが、自分の人生をこれから歩んでいくという時に、家族や故郷を残して飛び立っていきました。 ※裏面に続く

本日のプログラム

納涼会

8・9月のプログラム

第1474回例会:8月20日(木)/納涼会
第1475回例会:8月27日(木)/ゲストスピーチ(二本松青年会議所理事長他)
第1476回例会:9月3日(木)/会員スピーチ 菅野守芳会員
第1477回例会:9月10日(木)/二本松 RC合同例会
第1478回例会:9月17日(木)/夜間移動例会
9月24日(木)/休会

幹事報告

地区大会記念ポリオチャリティ
親善ゴルフ大会日時/令和8年10月4日(日)7:51スタート
場所/グランディ那須白河ゴルフクラブ
時間/スタート30分以上前にチェックインして下さい。

●国際ロータリークラブ会長

オンラインカ・ハキーム・ババロア(ナイジェリア)

●国際ロータリー第2530地区ガバナー

金田 昇(白河西ロータリークラブ)

●県北第一分区ガバナー補佐

内藤哲太郎(二本松ロータリークラブ)

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 一、真実かどうか
- 二、みんなに公平か
- 三、好意と友情を深めるか
- 四、みんなの為になるかどうか

創 立 1993.6.30
承 認 1993.9.10
認証状伝達式 1993.11.8
地 区 番 号 2530
ク ラ ブ 番 号 29750
例 会 日 毎週木曜日(12:30~13:30)例 会 場 二本松商工会議所
事 務 局 〒964-0917
福島県二本松市本町 1-60-1
二本松商工会議所
Tel0243-23-3211
Fax0243-23-6677

その一人ひとりに、お父さん、お母さん、兄弟、そして大切な人がいたことを考えると、本当に言葉がありませんでした。それでも、自分たちが置かれた時代の中で、自分の役割を果たそうとしていた。その姿を見ていると、私は改めて、今の私たちが当たり前だと思っている毎日が、決して当たり前ではないということを感じました。

家族と食事ができる。仕事ができる。仲間とゴルフができる。

そして、こうして毎週ロータリーに集まって、皆さんと笑いながら話ができる。

私たちにとっては何気ない日常ですが、知覧の若者たちが最後まで望んでいたのは、もしかすると、そんな普通の日常だったのかもしれない。

私たちは、戦争を経験した世代ではありません。戦争を直接知る方々も、年々少なくなっています。

だからこそ、私たちの世代が知ろうとすること、そして次の世代に伝えていくことが大切なのではないのでしょうか。

戦争を美化するのでもなく、誰かを責めるためでもありません。二度と同じような時代をつくらないために、何があったのかを知り、忘れないこと。それが、今を生きている私たちにできることのひとつだと思います。

ロータリーもまた、世界平和を大きな目的の一つとして活動しています。

「平和」という言葉は非常に大きな言葉ですが、その始まりは、案外身近なところにあるのではないのでしょうか。

相手を理解しようとする。違いを認めること。困っている人がいれば手を差し伸べること。

そして、子どもたちに平和な社会を残していくこと。

知覧から帰ってきて、私はそんなことを改めて考えました。

今、自分が仕事をし、家族と暮らし、仲間と笑い、好きなことができる。その一日一日を大切にすることも、あの若者たちへの一つの答えなのかもしれません。

知覧は、戦争の悲惨さを学ぶ場所であると同時に、「あなたは今をどう生きますか」と問いかけられる場所だったように思います。

今回、実際に知覧を訪れることができ、本当に良かったと思っています。

機会がありましたら、皆さんにもぜひ一度訪れていただきたいと思います。



ニコニコ BOX

クラブ管理運営委員会／九頭見武彦

安部敏弘会員、飯田美恵子会員、善方邦雄会員、渡邊 覚会員、齋藤敏夫会員、九頭見武彦会員、遠藤 優会員、菅野守芳会員、吉田 豪幹事、平塚与志一会員、橋本哲弥会長、鎌田有樹会員、本多勝也会員、松本 太会員、横山 淳様、藤井 守様（福島 RC 所属）

* 米山記念寄与者…なし

* ロータリー財団…飯田美恵子会員、九頭見武彦会員、菅野守芳会員、吉田 豪会員、善方邦雄会員

◇皆様の善意に感謝致します。ありがとうございました。

クラブ管理運営委員会（出席委員会）九頭見武彦

会 員 数	本日出席	出 席 率	メイクアップ	修 正 率
45 名	25 名	55.5 %	4 名	64 %

ニコニコ BOX

目標額	700,000円
小 計	30,000円
累 計	157,000円